



清瀬市立清瀬第三中学校 ◇◇一人一人が輝く三中◇◇

〒204-0002

清瀬市旭が丘 1-262

Tel 042-493-6313



学校 HP QRコード

# 学校だより3月号

## 学校評価報告② ～教育活動の取組と評価～

2月号の続き、学校評価報告として、生徒、保護者、教職員、学校運営連絡協議会委員のアンケート調査の結果より分析、課題、今後の対応についてお知らせいたします。

### (1) 学校アンケートのまとめ

清瀬第三中学校 令和5年度学校評価																	
		保護者				生徒				教職員				学運協（外部委員）			
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
1	生徒は、楽しく学校に通っている。 教職員：本校は教育目標に沿って、教育活動全般が実施されている。	36%	46%	10%	8%	37%	43%	11%	8%	11%	83%	6%	0%	43%	57%	0%	0%
2	生徒は、熱心に授業や家庭学習に取り組んでいる。	19%	38%	26%	16%	22%	46%	26%	6%	0%	17%	61%	22%	0%	57%	29%	0%
3	学校の施設は、安全面に配慮され、整美・整頓ができています。	11%	78%	9%	1%	34%	52%	11%	3%	0%	67%	28%	0%	14%	71%	14%	0%
4	学校は、保健だより・歯科講話・食育・アレルギー対応等を通じて、生徒の健康管理などに配慮し、安全・食についての意識を高め、自ら改善しようとする態度を育てている。	27%	67%	4%	0%	48%	44%	6%	2%	50%	50%	0%	0%	43%	43%	0%	0%
5	学校は、生徒にとってわかりやすい授業をすすめている。	7%	57%	29%	6%	25%	58%	13%	3%	11%	78%	11%	0%	0%	86%	0%	0%
6	学校では、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行っている。（特別支援教室<サポートルーム>等を含む）	18%	65%	11%	5%	24%	54%	16%	5%	22%	78%	0%	0%	57%	29%	0%	0%
7	学校は、いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	10%	66%	17%	6%	34%	47%	11%	7%	17%	78%	6%	0%	0%	86%	0%	0%
8	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	13%	62%	20%	3%					50%	50%	0%	0%	71%	14%	14%	0%
9	学校は、挨拶など基本的な生活習慣についての指導に力を入れている。	14%	63%	19%	2%	51%	41%	6%	3%	11%	39%	44%	6%	29%	71%	0%	0%
10	学校は、キャリア教育や道德教育の充実を図るために外部人材の活用を動めている。（2年職場体験前のハローワーク職員によるマナー講座、3年模擬面接授業、「命の教育週間」講演会、2・3年がん教育、3年「赤ちゃんのカプロジェクト」）	26%	65%	6%	1%					6%	94%	0%	0%	29%	57%	0%	0%
11	学校では、授業や部活動の充実のため、地域の専門家による指導を取り入れている。（ハカ及び1・2年の剣道の講師、卓球・バスケットボール・バレーボールの部活動指導員の導入）	17%	60%	17%	5%					17%	78%	6%	0%	14%	43%	29%	0%
12	本校では、運動会・合唱コンクールといった学校行事や、生徒会活動・ボランティア活動がさかんで、生徒は積極的に参加している。	29%	59%	10%	1%	41%	43%	11%	4%	17%	83%	0%	0%	57%	43%	0%	0%
13	学校では部活動がさかんで、積極的に参加している生徒が多い。	11%	51%	30%	8%	34%	48%	13%	5%	0%	78%	22%	0%	0%	43%	43%	0%
14	学校は、学校で行われている活動を学校・学年だよりやホームページ等で家庭や地域に伝える努力をしている。	35%	58%	7%	0%					50%	50%	0%	0%	29%	57%	0%	0%
15	学校は、学校行事やPTA活動等で、保護者や地域の方々との連携を積極的に進めている。	16%	67%	14%	1%					6%	72%	22%	0%	43%	57%	0%	0%
16	学校では、通常学級と特別支援学級との交流活動（行事を含む）を積極的に進めている。	21%	63%	12%	3%	40%	41%	10%	8%	50%	50%	0%	0%	43%	43%	0%	0%
17	学校は、「命の教育」の充実を図るために外部人材の活用を進めている。（「命の教育週間」講演会、2・3年がん教育、3年「赤ちゃんのカプロジェクト」）									22%	78%	0%	0%	22%	78%	0%	0%
18	学校では、各教科で学校図書館を利活用している。									0%	17%	61%	22%	0%	17%	61%	22%
19	今年度の校内研修を通じて、特別支援教育への理解が深まった。									11%	83%	6%	0%	11%	83%	6%	0%
										94%	6%			94%	6%		

②昨年度との比較 ※アンケート項目を変更したため一部の経年評価となりました。

清瀬第三中学校 令和5年度学校評価<経年比較>

		保護者				生徒				教職員				
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
①そう思う														
②どちらかというと思う														
③どちらかというと思わない														
④そう思わない														
1	生徒は、楽しく学校に通っている。 教職員：本校は教育目標に沿って、教育活動全般が実施されている。	R5	36%	46%	10%	8%	37%	43%	11%	8%	11%	83%	6%	0%
		R4	81%		18%		80%		20%		94%		6%	
2	生徒は、熱心に授業や（家庭学習）に取り組んでいる。	R5	37%	41%	15%	8%	53%	30%	10%	7%	31%	50%	19%	0%
		R4	78%		22%		83%		17%		81%		19%	
3	学校の施設は、安全面に配慮され、整美・整頓ができています。	R5	19%	38%	26%	16%	22%	46%	26%	6%	0%	17%	61%	22%
		R4	57%		43%		68%		32%		17%		83%	
5	学校は、生徒にとってわかりやすい授業をすすめている。	R5	32%	46%	16%	6%	34%	51%	11%	3%	0%	75%	25%	0%
		R4	78%		22%		85%		15%		75%		25%	
8	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	11%	78%	9%	1%	34%	52%	11%	3%	0%	67%	28%	0%
		R4	89%		10%		86%		14%		67%		28%	
9	学校は、生徒にとってわかりやすい授業をすすめている。	R5	24%	63%	13%	0%	56%	38%	3%	3%	25%	50%	19%	6%
		R4	87%		13%		94%		6%		75%		25%	
11	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	7%	57%	29%	6%	25%	58%	13%	3%	11%	78%	11%	0%
		R4	65%		35%		83%		16%		89%		11%	
12	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	12%	58%	24%	5%	30%	50%	14%	5%	25%	44%	31%	0%
		R4	70%		30%		81%		19%		69%		31%	
13	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	13%	62%	20%	3%					50%	50%	0%	0%
		R4	75%		23%						100%		0%	
14	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	16%	59%	20%	5%					25%	44%	31%	0%
		R4	75%		25%						69%		31%	
15	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	14%	63%	19%	2%	51%	41%	6%	3%	11%	39%	44%	6%
		R4	78%		21%		91%		8%		50%		50%	
16	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。（スクールカウンセラーの活用、ステップルーム<別室教室>の運営）	R5	25%	53%	18%	4%	51%	39%	6%	4%	19%	69%	13%	0%
		R4	78%		22%		90%		10%		88%		13%	
17	学校では、授業や部活動の充実のため、地域の専門家による指導を取り入れている。（ハカ及び1・2年の剣道の講師、卓球・バスケットボール・バレーボールの部活動指導員の導入）	R5	17%	60%	17%	5%					17%	78%	6%	0%
		R4	77%		23%						94%		6%	
18	学校では、授業や部活動の充実のため、地域の専門家による指導を取り入れている。（ハカ及び1・2年の剣道の講師、卓球・バスケットボール・バレーボールの部活動指導員の導入）	R5	28%	53%	13%	5%	53%	36%	6%	6%	38%	25%	25%	13%
		R4	82%		18%		89%		11%		63%		38%	
19	本校では、運動会・合唱コンクールといった学校行事や、生徒会活動・ボランティア活動がさかんで、生徒は積極的に参加している。	R5	29%	59%	10%	1%	41%	43%	11%	4%	17%	83%	0%	0%
		R4	88%		12%		84%		15%		100%		0%	
20	本校では、運動会・合唱コンクールといった学校行事や、生徒会活動・ボランティア活動がさかんで、生徒は積極的に参加している。	R5	35%	50%	14%	2%	46%	37%	13%	4%	31%	44%	25%	0%
		R4	84%		16%		83%		17%		75%		25%	
21	学校では部活動がさかんで、積極的に参加している生徒が多い。	R5	11%	51%	30%	8%	34%	48%	13%	5%	0%	78%	22%	0%
		R4	62%		38%		82%		18%		78%		22%	
22	学校では部活動がさかんで、積極的に参加している生徒が多い。	R5	23%	43%	26%	8%	45%	42%	9%	4%	13%	56%	31%	0%
		R4	66%		34%		87%		13%		69%		31%	
23	学校は、学校で行われている活動を学校・学年だよりやホームページ等で家庭や地域に伝える努力をしている。	R5	35%	58%	7%	0%					50%	50%	0%	0%
		R4	93%		7%						100%		0%	
24	学校は、学校で行われている活動を学校・学年だよりやホームページ等で家庭や地域に伝える努力をしている。	R5	33%	51%	15%	2%	45%	42%	9%	4%	38%	50%	13%	0%
		R4	84%		16%		87%		13%		88%		13%	
25	学校は、学校行事やPTA活動等で、保護者や地域の方々との連携を積極的に進めている。	R5	16%	67%	14%	1%					6%	72%	22%	0%
		R4	83%		16%						78%		22%	
26	学校は、学校行事やPTA活動等で、保護者や地域の方々との連携を積極的に進めている。	R5	33%	51%	15%	2%	45%	42%	9%	4%	38%	50%	13%	0%
		R4	84%		16%		87%		13%		88%		13%	

## (2) 分析による課題と今後の対応について

- 1 概ね良好な評価となっている。安全、安心して通える学校づくりは第一であると考えている。生活指導面やいじめ対策など様々な課題はあることから、今後も教育活動で意図的、組織的、計画的に取り組んでいく。

### <経年比較>

保護者 78%→81%で肯定的な評価が上がっているが、生徒 83%→80%で減少している。落ち着かない学校状況、友人関係、学習（授業）等の要因として考えられる。落ち着いた学校生活に向けた方策、ふれあいアンケート、教育相談、アセス分析等から検討していく。

- 2 保護者、生徒とも反省点や課題があるという評価がでてきている。特に教員からは、大きく低い評価となっている。授業態度、課題への取組等から問題点をあると評価しているようである。授業規律、指導方法の観点の転換、個に応じた指導等の学校側の課題としても今後課題解決していく必要がある。

### <経年評価>

今年度は家庭学習という文言を付け加えたため保護者、生徒、教員からの評価が低くなったと考えられる。家庭学習の習慣化については、学校できること、家庭に協力してもらうこと、小学校との連携を今後も課題として取り組んでいく。

- 3 保護者 89%、生徒 86%は、概ね良好な評価となっている。教員 67%は、低めの評価となっている。一部の老朽化した点、破損や故障、安全対策面で、問題点があると捉えているようである。老朽化した個所の点検、破損、故障等の対応をすることで火災、地震対策など安全面に十分に配慮していく。

### <経年比較>

生徒 94%→86%で肯定的な評価が減少している。上記で示した点で、雨漏りや老朽化した点、破損、故障等の箇所があることが原因であると思われる。また、今年度、北校舎のトイレ改修工事が行われたため、新しい施設に関心があると思われる。整美委員が中心に美化活動が行われているが、環境美化活動を活性化させ、今後は安全対策にも力を入れていく。

- 4 概ね良好な評価となっている。養護教諭、栄養士、管理職を中心に健康管理、安全な食の提供、食育の推進、危機管理体制など、学校生活の根幹となる無事故な健全育成と健康、食への関心を高めていく。

- 5 保護者からは肯定的な評価65%で低い値となっている。授業参観、学力調査等の結果、定期考査等の得点、評価・評定の結果が要因として考えられる。授業規律、基礎学力定着に向けて授業改善は今後の課題である。来年度の研修計画を検討中である。

### <経年比較>

昨年度より教員の自己評価が高いのは、指導法の検討、教材研究など、授業改善意識の向上の結果と考える。わかる授業、考えさせる授業を心がけているが、結果に表れていないのが現状であるが、先にも述べたが、研修会を通じて、互いの授業の課題、アイデア、工夫点など協議していくことで、より指導力向上につながるかと考えている。

- 6 概ね良好な評価となっている。今年度から知的特別支援学級が開級し、特性のある生徒への支援についての理解、方法が今年度の校内研修のテーマであった。特性のある生徒の共通理解、支援方法の検討など研修会、特別支援委員会で検討してきた。個別の指導計画作成等を進め、より教育的ニーズに合った指導・支援を進めていく。

7 保護者の肯定的な評価 76%でやや低めである。本校では、安全、安心な学校生活を送れるためにいじめ撲滅に向けて、未然防止、早期発見、早期対応を意図的、計画的、組織的に行っている。日頃からの行動観察、年間5回のアンケート調査の実施、教育相談等から未然防止、早期発見につなげ、校内いじめ対策委員会を中心に早期対応を組織的に実施している。今年度も数件のいじめ案件が挙げられている。難しい対応で、保護者からの問い合わせもあったが、今後の課題として再発防止に努めていく。

8 保護者の肯定的な評価 75%でやや低めである。本校では、「不登校が生じない魅力ある学校づくり」のための方策として、不登校対策室として「ステップルーム」を令和2年から開設している。過去3年間で不登校出現率が減少していることもその成果である。教室に入れない生徒への居場所づくりや継続した学びを目的としてオンラインでの授業、ボランティア等の支援員の配置、教室環境の整備など様々な対策を講じている。その他にも、欠席生徒へのケアや聞き取り等で未然防止、早期発見を行い、スクールカウンセラー等の活用で早期対応を行っている。また、外部機関等の連携も進めていき、家庭との情報共有を密にし、誰一人取り残さないきめ細かな教育に向けて取り組んでいく。

#### <経年比較>

昨年度に比べ、教員の評価(69%→100%)と高い評価になっている。毎月行っている不登校対策校内委員会を中心に、情報共有、支援方法の確認などで、全職員への意識の向上につながったと考えている。

9 保護者 78%、教員の評価 50%で低い結果になっている。挨拶は、週一回の生徒会の挨拶運動をはじめ、多くの生徒はあいさつができています。基本的な生活習慣とは、睡眠、食事、排泄、清潔、安全、身だしなみ、整理整頓、挨拶など健康で安全、快適な生活を営む基本となる。学校では、①あいさつ、②時間を守る、③食事をしっかりとる、④身だしなみを整える、⑤身の回りの整理整頓・掃除ができる、⑥社会や家庭、学校のルールを守る⑦家庭学習の習慣等が挙げられる。今後は、家庭や小学校と連携し基本的な生活習慣の確立に向けて取り組んでいく。

#### <経年比較>

教員の値(88%→50%)が低くなっている。様々な課題を抱えながら、基本的な生活習慣の確立に向け、落ち着いた学校生活を送れるよう取り組んでいく。

10 概ね良好な評価となっている。様々な協働的な体験活動から達成感、成就感を得ることで自己肯定感、自己有用感を高め、生きる力の育成に向けて、さらに地域との連携により多くの学びの場を作り、育てていく。

11 保護者が77%でやや低めの評価となっている。昨年度と同様に地域の専門家による指導を取入れているが、保護者への広報活動が十分でなかったと考えられる。さらにホームページ等のWEBシステムの活用、便りの発行などで保護者、地域に広めていく。また、ハカと同様に、武道を剣道から空手に変更し、運動会で成果発表することで、保護者、地域への理解を深めていく。

#### <経年比較>

保護者の値が82%→77%と下がっている。上記で示した広報活動の他に、地域の指導者を部活動へ取り入れたり、イベント等を開催し、部活動の地域との連携を深めていく。

12 概ね良好な評価となっている。コロナが5類になり、様々な行事活動が実施されていることが大きな要因であると考えられる。

#### <経年比較>

昨年度より保護者 84%→88%、教員 75%→100%で上がっている。上記の事が要因と考える。また、

来年度は、土曜授業の日数を増やすとともに学校行事等を開催し保護者、地域の方がより参観しやすいようにしていく。

- 13 保護者 62%、教員 78%でやや低い評価となっている。限られた施設の中で、働き方改革の概念のもと、部活動の数、活動日・時間等の制限があることが要因となっていると考える。昨今は、部活動の地域連携、地域移行への観点から、現状の部活動で進めていくこととなる。

<経年比較>

昨年度より保護者 66%→62%、生徒 87%→82%で下がっている。上記と同様。

- 14 概ね良好な評価となっている。学級、学年、学校便り等は、定期的に発行している。ホームページも日々の学校生活の様子や給食の献立、行事予定等も毎月掲載している。また、Home&Schoolの活用も学年便りやその他の発行物、校外行事等の様子なども保護者へ提供している。今後も、ペーパーレスの観点からの有効的に活用していく。

<経年比較>

保護者 84%→93%、教職員 88%→100%と上がっている。課題としては、学校ホームページの閲覧数が低いことやHome&Schoolの既読率も最大 85%と高止まりしている。今後は、緊急・重要なお知らせ等も配信していくため、より保護者や地域関係者へ周知していく。

- 15 保護者 83%で概ね良好な評価となっている。教員 78%でやや低い評価となっている。PTA 活動もコロナ明けより再活動し、学校行事等でも協力していただき感謝している。また、地域行事等でも部活動やボランティアで生徒が参加している。今後も地域との協力、連携を推進させていく。

<経年比較>上記と同様

- 16 概ね良好な評価となっている。今年度より開級した知的特別支援学級と1学年は、入学当初より交流及び共同学習を行っている。様々な行事や総合的な学習の時間、2学期には教科の授業にも参加している。

- 17 命の教育「全体計画」「年間計画」をもと、各行事、各教科等で横断的に取り組んでいる。今年度は、10月に清瀬ラボの方を講師として招いた。わかりやすい説明と、生徒も参加できるロールプレイなど興味の尽きない内容で生徒も集中して参加していた。生徒からは「自分は自分で良いと思った」「個性の大切さを再確認できた」「自分の命も他人の命も尊重していきたい」などの感想が多くあげられ、十分な成果を得ることができた。

- 18 学力調査の結果からも、図書館利用率は低い。国語科では、1年生でポップコンテストに参加、ビブリオフォーラムの参加、2年生で調べる学習コンクールでも受賞するなど一部の活動は行っている。また、図書委員会を中心に、「読書の木」「図書館便りの発行」「図書給食」を行っている。今後は、環境整備として、生徒が落ち着いて読書・調べ学習を行うことができる、安らぎのある環境や知的な好奇心を醸成する開かれた「学びの場」としての環境を整えていきたい。そして、移動図書館として、2・3階の渡り廊下に開設し、多く生徒の図書に触れ、良さを味わってもらえるように、学校図書館年間計画を作成し、各教科、領域で横断的に図書館を情報学習センターとして機能させ活用していく。

- 19 6でも述べたが、今年度から知的特別支援学級が開級し、特性のある生徒への支援についての理解、方法が今年度の校内研修のテーマであった。特性ある生徒の共通理解、支援方法の検討など研修会、特別支援委

員会で検討してきた。今後も、月に2回の校内委員会で情報共有および支援方法の検討を実施していく。さらに医療やSSW等の外部機関との連携も強めていく。

今年度も、保護者、生徒は、WEBシステム(Forms)を利用して集計を行いました。保護者の回答率が67%でした。今後は、より多くの学校情報をHoom&Schoolの活用して配信し、利用状況を広めていくとともにアンケートの回収率も上げていきたい。保護者の皆様、学校運営連絡協議会委員の皆様におかれましては、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校ホームページには、清瀬市公立学校共通様式の学校評価計画及び学校評価表が掲載されています。ぜひ、そちらもご一読ください。今年度の学校評価より、来年度に向けて教育課程が作成されています。それに伴って、学校経営計画も作成中です。

来年の学校経営計画の骨子として右記の6つを上げていきます。さらにより良い学校づくりのため、校長として邁進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- ・学力向上を目指す学校づくり
- ・不登校対策の推進
- ・特別支援教育の充実
- ・学校図書館の学習情報センターとしての充実
- ・学校2020レガシーの推進
- ・地域と連携し体験活動の充実(CSに向けて)

### 【特別支援学級交流会】

2月8日に清瀬中学校体育館にて令和5年度清瀬市立中学校特別支援学級交流会が開催されました。清瀬中学校の知的学級、情緒学級、清瀬第二中学校の知的学級と本校のF組の生徒が集まり、パラリンピックの正式種目となった「ボッチャ」で交流を深めました。



### 【国際理解教育】

国際理解教育「異文化理解」の取組の一つとして、ラグビーニュージーランド代表(オールブラックス)が試合前に舞う民族舞踊「ハカ」を令和2年度より外部講師を招き、保健体育のダンスで取り入れています。ハカは、「相手に対する敬意や感謝の意を表する」舞として披露されています。そのため、2年生の1・2月で学んだものを、3年生の卒業式後でハカを披露することで、先輩に対しての敬意や感謝、卒業の祝い、三中伝統ハカを受け継いだことを伝える時間を設けています。さらに、来年度の運動会では創作ハカを発表することが三中伝統行事となっています。



### 3月の予定

- 1日(金) 都立一次発表・手続き
- 2日(土) 土曜授業 授業公開 1・2年保護者会
- 4日(月) 全校朝礼 安全指導
- 5日(火) ①カット、専門委・中央委
- 6日(水) 3年特別時間割 3年球技大会
- 7日(木) 3年笑顔プロジェクト 学校保健委員会
- 8日(金) 2年百人一首大会
- 9日(土) 都立分割後期・二次検査
- 11日(月) 生徒会朝礼 3年薬物乱用防止教室  
避難訓練
- 12日(火) 3年救急救命講習会
- 15日(金) 卒業式予行
- 18日(月) ⑤⑥カット 卒業式準備
- 19日(火) 第56回卒業式
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 2年球技大会 大掃除 5時間授業
- 22日(金) 1年球技大会 3時間授業 給食なし
- 25日(月) 修了式 離任式 給食なし

### 【卒業式のご案内】

今年度は、全校生徒、来賓、保護者の方が参列します。保護者、来賓の方には、近日中にご案内が配布いたします。

日時 令和6年3月19日(火)  
午前10時開式

会場 清瀬第三中学校 体育館

※保護者の皆様は、午前9時45分までにご着席ください。各家庭2名まで参列できます。

※ご来賓の方は、午前9時30分までにはご来校ください。



清瀬市では、小中学校のコミュニティスクール、小中連携教育について清瀬市教育委員会ホームページでご案内しております。



【コミュニティスクール】

【小中連携教育】